

「日記を書くことは、日本で生きているゲイ男性の1人としての「アクティビズム」でもあった」 —

1日が長いと感じられる日が、 時々でもあるといい

著 小沼理

2022年10月下旬発売

定価 本体 1800 円 + 税 ISBN978-4-907053-57-4

新型コロナウイルス、東京オリンピック、元首相銃撃事件。著しい社会変化があった3度の夏、それでも生活は続いていく。迷い、怒り、喜び、苦しみ、考え、先へ向かう、注目のフリーランスライターによる3年間の日記です。

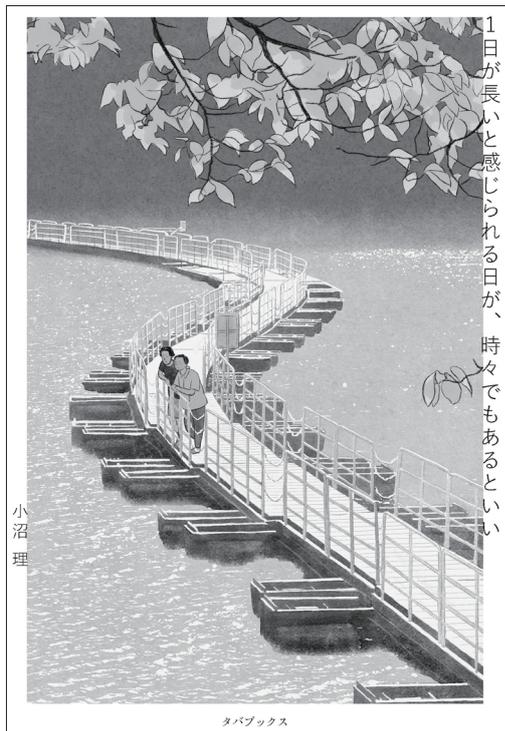
著者は、その日の気分や政治への違和感、夕飯の献立を日記に同時に記します。そうすることで、「ある属性が都合よく漂白されるのを拒み、ある属性だけに還元されることから逃れようとしている」と語ります。セクシャルマイノリティである著者の日々の記録は、差別や偏見、社会構造や政治の歪みを、あらためて感じさせる内容です。

韓国のグラフィックノベルアーティスト、チョン・イヨン氏の装画も美しく、ぜひお手元においていただきたい1冊です。何卒ご展開のほどよろしく願いいたします。

私はエラー。この感覚は今も続く。「自分がかかわると事態は必ず悪い方へ進む」というイメージも、やっぱり消えない。でも、それで構わない。身につけてきた生き抜く術に愛着をもっているから、人生をやり直したいとは思わない。そう思えるところまではたどり着いた。今は社会の構造や風潮に問題があることを知っていて、変えていきたいと思う。個人的な実感から構造を問う文学や映画、音楽の存在に励まされている。ひどいニュースを見るたび、いい加減にしてくれ、と怒りたくなる。その力で、先へ向かおうとすることはできる。足取りに自信がなくても、進みたい方向ははっきりわかっている。(本文より)

著者プロフィール | 小沼理 おぬま・おさむ

1992年富山県生まれ、東京都在住のライター。「好書好日」「リアルサウンドブック」他で人文系の著者インタビューなどを行う。Web マガジン「アパートメント」管理人。



小沼理

タバブックス

【版型頁数】四六版・ソフトカバー・272 頁
【装丁】湯見陽
【装画】チョン・イヨン

【目次】

鍵をかけない部屋
消毒日記 2020 年
隣人的 2021 年
私はエラー
大丈夫 2022 年
あとがき



↑↑↑
試し読み公開中！
まえがき「鍵をかけない部屋」
を公開しております。
ぜひご一読ください

FAX : 03-6736-0689

タバブックス宛

◎取次 = JRC tel 03-5283-2230 fax 03-3294-2177
JRC を通して全ての取次への出荷が可能です。
◎返品は無期限で承ります【返品了解者：宮川】

貴店番線印	ご注文数	タバブックス	文芸	返品条件付き注文扱い
ご担当 様		1日が長いと感じられる日が、時々でもあるといい 新刊 著 小沼理 2022年10月下旬発売 本体1800円+税 ISBN978-4-907053-57-4		